

## 2.3.4 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況

### (1) 動物

#### 1) 動物相の概要

対象事業実施区域が位置する伊那市は、長野県南部に広がる伊那盆地の北部に位置し、市の中心部を天竜川が流下し、東から三峰川、西から小沢川、小黒川等の多数の中小河川が合流している。天竜川の両岸には扇状地や河岸段丘が発達している。かつて、氾濫原であった平坦地においては、治水が進み、肥沃な農耕地が広がっている。伊那谷は標高 3,000m級の山脈から 600mの天竜川まで標高差があり、また農耕地・山麓地・亜高山帯・高山帯と変化に富み、本州に生息する動物の大半が垂直的に分布しているといわれている。しかし、自然林や雑木林の伐採、カラマツ・ヒノキなどの植林によって森林相に変化をきたし、草原や畑地の開田、道路網の発達などにより自然環境の変化は、野生動物の生息に少なからず影響している。

このような生息環境における動物相についてみると、ほ乳類では山地、農耕地等でハクビシン、イノシシ、ニホンザル、イタチ、キツネ、タヌキ、カモシカ、ノウサギ等の生息が確認されている。

鳥類については山地ではワシタカ類が、河川や用水路等の水辺環境ではサギ類、カモ類、シギ・チドリ類、市街地では、スズメ、ヒヨドリ、キジバト等が確認されている。

は虫類では、水田に接する畑や堤防、山地にはアオダイショウ、シマヘビ、ヤマカガシ等が確認されている。

両生類では、ヒキガエル、アマガエル、トノサマガエル、シュレーゲルアオガエル、イモリ等が用水路や池、水田等で確認されている。

淡水魚類は、イワナ、アマゴ、アユ、ドジョウ、オイカワ、ヨシノボリ等が確認されている。

昆虫類は、河川や水田等の水辺環境に生息するトンボ類、草地に生息するバッタ類、チョウ類等の多くの昆虫が確認されている。

甲殻類は、河川でサワガニ等が確認されている。

淡水貝類は、河川でイシガイ類、シジミ類が確認されている。

#### 2) 注目すべき動物

伊那市で確認された注目すべき動物を表 2.3-3 に示す。

ほ乳類については、ホンドモモンガ(ホンシュウモモンガ)、ヤマネ、ホンシュウカヤネズミ、カモシカ等 12 種が確認されている。

鳥類については、ミゾゴイ、チュウサギ、オオタカ、イヌワシ等 52 種が確認されている。

両生類については、クロサンショウウオの 1 種類が確認されている。

魚類については、ゼニタナゴ、ホンモロコ、メダカ、ホトケドジョウ等 12 種類が確認されている。

昆虫類については、チャマダラセセリ、ゲンゴロウ、ギフチョウ、ツマグロキチョウ等 71 種が確認されている。

貝類については、モノアラガイ、ナガオカモノアラガイの 2 種類が確認されている。

は虫類、甲殻類については、注目すべき種は確認されていない。

出典:「平成 10 年度 伊那市環境基本計画策定業務委託 報告書」(平成 11 年 3 月 伊那市)、  
「伊那市史 自然編」(昭和 56 年 7 月 伊那市史刊行会)、  
「高遠町誌 下巻 自然 現代 民俗」(昭和 54 年 7 月 高遠町誌刊行会)を基に作成

表 2.3-3(1) 伊那市における注目すべき動物

区分	目名	科	種名	文献調査 <sup>(注)1</sup>			選定基準 <sup>(注)2~3</sup>						
				伊那環境	伊那市史	高遠町誌	①	②	③	④	⑤		
ほ乳類	モグラ	トガリネズミ	トガリネズミ		○					NT			
			カワネズミ		○	○				NT			
		モグラ	ミズラモグラ		○					VU			
	コウモリ	ヒナコウモリ	シナノホオヒゲコウモリ		○					VU	EN		
			モモジロコウモリ		○	○				NT			
			ヤマコウモリ		○					NT	VU		
			ニホンウサギコウモリ			○					NT		
	ネズミ	リス	ホンドモモンガ(ホンシュウモモンガ)	○			県天			NT	NT		
		ヤマネ	ヤマネ	○	○		国天			NT	NT		
		ネズミ	ホンシュウカヤネズミ			○				VU			
	ネコ	イタチ	ホンドオコジョ		○		県天			NT	NT		
ウシ	ウシ	カモシカ	○			特天							
鳥類	ハト	ハト	アオバト		○					NT			
	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	○						VU			
	コウノリ	サギ	ミゾゴイ		○					EN	VU		
			オオヨシゴイ		○					EN			
			ヨシゴイ	○	○						NT	VU	
			ササゴイ	○	○							NT	
			チュウサギ	○		○					NT	NT	
	カモ	カモ	マガン	○	○		国天			NT			
			コハクチョウ	○	○						留意種		
			オシドリ	○	○					DD			
			トモエガモ		○					VU	EN		
	タカ	タカ	ミサゴ	○						NT	留意種		
			ハチクマ	○						NT	VU		
			オオタカ	○	○	○		国内	NT	VU			
			ツミ	○	○						DD		
			ハイタカ	○						NT	VU		
			ノスリ	○	○						NT		
			サシバ	○	○					VU	VU		
			クマタカ	○		○		国内	EN	EN	指定		
			イヌワシ	○	○		国天	国内	EN	CR	特別		
			ハヤブサ	ハヤブサ	○				国内	VU	留意種		
				チョウゲンボウ	○	○						留意種	
			キジ	キジ	ウズラ	○	○					NT	CR
					ライチョウ	○	○		特天	国内	VU	VU	指定
	ツル	クイナ	クイナ		○						DD		
			ヒクイナ	○	○					VU	VU		
	チドリ	チドリ	コチドリ	○	○						NT		
			イカルチドリ	○	○						NT		
		タマシギ		○						EN			
		シギ	ヤマシギ	○	○					DD			

注) 1. 文献調査の出典は以下のとおりである。

伊那環境:「平成 10 年度 伊那市環境基本計画策定業務委託 報告書」(平成 11 年 3 月 伊那市)

伊那市史:「伊那市史 自然編」(昭和 56 年 7 月 伊那市史刊行会)

高遠町誌:「高遠町誌 下巻 自然 現代 民俗」(昭和 54 年 7 月 高遠町誌刊行会)

2. 注目すべき種は、既存文献から網別に記録のある種を基に以下の選定基準から抽出した。選定基準は以下のとおりである。

- ①:「文化財保護法」(1950 年)に基づく天然記念物及び特別天然記念物に指定されている種又は「文化財保護条例(1975 年)」に基づく県天然記念物に指定されている種
- ②:「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992 年)に基づく国内希少動植物種及び国際希少野生動植物種及び緊急指定種に指定されている種
- ③:「鳥類、爬虫類、両生類及びその他無脊椎動物のレッドリストの見直しについて」(環境省 平成 18 年)に記載されている種、及び「哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物 I 及び植物 II のレッドリストの見直しについて」(環境省 平成 19 年)に記載されている種
- ④:「長野県版レッドデータブック 動物編」(平成 15 年 長野県)に記載されている種
- ⑤:「指定希少野生植物及び特別指定希少野生植物の指定について」(平成 17 年脊椎動物 平成 18 年無脊椎動物 長野県)に記載されている種

3. ①~⑤の選定基準の記号は以下のとおりである。

- ①/特天:国指定特別天然記念物、国天:国指定天然記念物、県天:県指定天然記念物
- ②/国内:国内希少野生動植物種、国際:国際希少野生動植物種
- ③・④/EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧 I 類、CR:絶滅危惧 I A 類、EN:絶滅危惧 I B 類、VU:絶滅危惧 II 類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群
- ⑤/特別:特別指定希少野生動植物、指定:指定希少野生動植物

表 2.3-3(2) 伊那市における注目すべき動物

区分	目名	科	種名	文献調査 <sup>(注)1</sup>			選定基準 <sup>(注)2~3</sup>						
				伊那環境	伊那市史	高遠町誌	①	②	③	④	⑤		
鳥類	チドリ	カモメ	コアジサシ	○				国際	VU	EN			
	フクロウ	フクロウ	トラフズク		○						VU		
			コノハズク		○						VU		
			オオコノハズク		○							DD	
			アオバズク	○	○							VU	
			フクロウ	○	○	○						NT	
	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ	○	○				VU	VU			
	アマツバメ	アマツバメ	ハリオアマツバメ	○							NT		
	ブッポウソウ	カワセミ	ヤマセミ	○								NT	
			アカショウビン	○	○							VU	
	キツツキ	キツツキ	オオアカゲラ		○							NT	
	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ	○	○					VU	VU		
			モズ	チゴモズ	○	○					CR	CR	
				アカモズ	○	○						EN	EN
		ツグミ	ノビタキ	○	○								NT
			マミジロ	○	○								NT
		ウグイス	オオセッカ		○				国内	EN			
			コヨシキリ		○								NT
			セッカ		○								CR
		ホオジロ	コジュリン		○						VU	EX	
ホオアカ				○								NT	
ノジコ	○		○							NT	NT		
両生類	サンショウウオ	サンショウウオ	クロサンショウウオ		○					NT	NT		
魚類	ウナギ	ウナギ	ウナギ	○	○	○					DD	EW	
	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	スナヤツメ	○	○	○						VU	
	コイ	コイ	ゲンゴロウブナ	○							EN		
			タナゴ		○							EN	
			ゼニタナゴ		○							CR	
			ホンモロコ		○							CR	
			ドジョウ	ホトケドジョウ	○							EN	VU
	ナマズ	アカザ	アカザ	○	○					VU	NT		
	サケ	アユ	アユ	○	○	○							EW
		サケ	ビワマス		○						NT		
	ダツ	メダカ	メダカ		○					VU	EN		
	カサゴ	カジカ	カジカ	○	○	○						NT	
	昆虫類	トンボ	イトトンボ	モートンイトトンボ	○							NT	
サナエトンボ			ウチワヤンマ	○									NT
			オジロサナエ	○									NT
ヤンマ		クロスジギンヤンマ	○									NT	
		ギンヤンマ	○									NT	
		ミルンヤンマ	○									NT	
エゾトンボ		オオトラフトンボ	○									CR+EN	

注)1. 文献調査の出典は以下のとおりである。

伊那環境:「平成 10 年度 伊那市環境基本計画策定業務委託 報告書」(平成 11 年 3 月 伊那市)

伊那市史:「伊那市史 自然編」(昭和 56 年 7 月 伊那市史刊行会)

高遠町誌:「高遠町誌 下巻 自然 現代 民俗」(昭和 54 年 7 月 高遠町誌刊行会)

2. 注目すべき種は、既存文献から網別に記録のある種を基に以下の選定基準から抽出した。選定基準は以下のとおりである。

- ①:「文化財保護法」(1950 年)に基づく天然記念物及び特別天然記念物に指定されている種又は「文化財保護条例(1975 年)」に基づく県天然記念物に指定されている種
- ②:「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992 年)に基づく国内希少動植物種及び国際希少野生動植物種及び緊急指定種に指定されている種
- ③:「鳥類、爬虫類、両生類及びその他無脊椎動物のレッドリストの見直しについて」(環境省 平成 18 年)に記載されている種、及び「哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物Ⅰ及び植物Ⅱのレッドリストの見直しについて」(環境省 平成 19 年)に記載されている種
- ④:「長野県版レッドデータブック 動物編」(平成 15 年 長野県)に記載されている種
- ⑤:「指定希少野生植物及び特別指定希少野生植物の指定について」(平成 17 年脊椎動物 平成 18 年無脊椎動物 長野県)に記載されている種

3. ①~⑤の選定基準の記号は以下のとおりである。

①/特天:国指定特別天然記念物、国天:国指定天然記念物、県天:県指定天然記念物

②/国内:国内希少野生動植物種、国際:国際希少野生動植物種

③・④/EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧ⅠA類、CR:絶滅危惧ⅠB類、EN:絶滅危惧ⅡA類、VU:絶滅危惧ⅡB類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群

⑤/特別:特別指定希少野生動植物、指定:指定希少野生動植物

表 2.3-3(3) 伊那市における注目すべき動物

区分	目名	科	種名	文献調査 <sup>注1)</sup>			選定基準 <sup>注2-3)</sup>						
				伊那環境	伊那市史	高遠町誌	①	②	③	④	⑤		
昆虫類	バッタ	コオロギ	エゾエンマコオロギ	○							VU		
	カメムシ	セミ	チツチゼミ	○							留意種		
	カメムシ	コオイムシ	コオイムシ	コオイムシ	○					NT			
			タイコウチ	タイコウチ	○							NT	
			キンカメムシ	アカスジキンカメムシ	○							留意種	
	コウチュウ	ホソクビゴミムシ	ホソクビゴミムシ	ミイデラゴミムシ	○							VU	
			ゲンゴロウ	ゲンゴロウ			○				NT	NT	
		ゲンゴロウ	マルガタゲンゴロウ				○				NT	VU	
			ミズスマシ	ツマキレオナガミズスマシ	○						NT		
		ミズスマシ	ミズスマシ		○								NT
			ガムシ	ガムシ	○								NT
		シデムシ	マエモンシデムシ	○								NT	
		コガネムシ	シラホシハナムグリ	○								CR+EN	
		ホタル	ゲンジボタル	○		○						留意種	
		オオキノコムシ	オオキノコムシ			○						NT	
		カミキリムシ	ヨツボシカミキリ	ヨツボシカミキリ			○					VU	VU
				クロヒラタカミキリ			○					NT	
				フタスジゴマフカミキリ			○						VU
				ヨコヤマヒゲナガカミキリ			○						NT
	ヤツボシカミキリ					○						VU	
	トビケラ	キタガミトビケラ	キタガミトビケラ	○							留意種		
	チョウ	セセリチョウ	アカセセリ			○					VU	NT	
			ギンイチョモンジセセリ			○					NT	NT	
			ホシチャバネセセリ			○					CR+EN	EN	
			ミヤマチャバネセセリ			○						VU	
			キマダラセセリ	○								NT	
			チャマダラセセリ			○					CR+EN	EN	
		アゲハチョウ	スジグロチャバネセセリ			○						VU	
			ギフチョウ	○		○					VU	NT	
		ヒメギフチョウ	ヒメギフチョウ			○	○					留意種	
			クモマツマキチョウ*			○	○	県天		NT	VU	指定	
		シロチョウ	ミヤマシロチョウ			○	○	県天		VU	EN	特別	
			ミヤマモンキチョウ*				○	県天		NT	NT	指定	
			ツマグロキチョウ			○	○			VU	CR		
			ヤマキチョウ			○	○			VU	VU		
			ヒメシロチョウ			○				VU	NT		
		シジミチョウ	ウラジロミドリシジミ			○						NT	
			アサマシジミ(ヤリガタケシジミ)			○		県天				NT	

注) 1. 文献調査の出典は以下のとおりである。

伊那環境:「平成 10 年度 伊那市環境基本計画策定業務委託 報告書」(平成 11 年 3 月 伊那市)

伊那市史:「伊那市史 自然編」(昭和 56 年 7 月 伊那市史刊行会)

高遠町誌:「高遠町誌 下巻 自然 現代 民俗」(昭和 54 年 7 月 高遠町誌刊行会)

2. 注目すべき種は、既存文献から網羅的に記録のある種を基に以下の選定基準から抽出した。選定基準は以下のとおりである。

- ①:「文化財保護法」(1950 年)に基づく天然記念物及び特別天然記念物に指定されている種又は「文化財保護条例(1975 年)」に基づく県天然記念物に指定されている種
- ②:「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992 年)に基づく国内希少動植物種及び国際希少野生動植物種及び緊急指定種に指定されている種
- ③:「鳥類、爬虫類、両生類及びその他無脊椎動物のレッドリストの見直しについて」(環境省 平成 18 年)に記載されている種、及び「哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物 I 及び植物 II のレッドリストの見直しについて」(環境省 平成 19 年)に記載されている種
- ④:「長野県版レッドデータブック 動物編」(平成 15 年 長野県)に記載されている種
- ⑤:「指定希少野生植物及び特別指定希少野生植物の指定について」(平成 17 年脊椎動物 平成 18 年無脊椎動物 長野県)に記載されている種

3. ①～⑤の選定基準の記号は以下のとおりである。

①/特天:国指定特別天然記念物、国天:国指定天然記念物、県天:県指定天然記念物

②/国内:国内希少野生動植物種、国際:国際希少野生動植物種

③・④/EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧 I 類、CR:絶滅危惧 I A 類、EN:絶滅危惧 I B 類、VU:絶滅危惧 II 類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群

⑤/特別:特別指定希少野生動植物、指定:指定希少野生動植物

4. 「クモマツマキチョウ」で選定基準の①が「県天」、③が「NT」、④が「VU」、⑤が「指定」となっているが、南アルプス・八ヶ岳連峰亜種の場合である。

「ミヤマモンキチョウ」で選定基準の①が「県天」、③、④が「NT」、⑤が「指定」となっているが、浅間山系亜種または北アルプス亜種の場合である。

表 2.3-3(4) 伊那市における注目すべき動物

区分	目名	科	種名	文献調査 <sup>(注)1</sup>			選定基準 <sup>(注)2~3</sup>						
				伊那環境	伊那市史	高遠町誌	①	②	③	④	⑤		
昆虫類	チョウ	シジミチョウ	クロミドリシジミ		○						NT		
			ウラナミアカシジミ	○	○						NT		
			ミヤマシジミ	○					VU	NT			
			ゴマシジミ*	○	○				VU	VU			
			オオルリシジミ		○						EN	指定	
			ムモンアカシジミ		○						NT		
			クロツバメシジミ	○	○							留意種	
		タテハチョウ	コヒオドシ			○	県天					NT	
			ウラギンスジヒョウモン		○					NT			
			ヒョウモンチョウ		○	○						留意種	
			オオウラギンヒョウモン		○					CR+EN	CR		
			オオイチモンジ		○	○	県天			VU	NT	指定	
			コヒョウモンモドキ		○					VU	NT		
			ヒョウモンモドキ	○	○					CR+EN	CR		
		ジャノメチョウ	オオムラサキ	○	○	○				NT		留意種	
			ヒメヒカゲ	○								EN	
			クモバベニヒカゲ*		○	○	県天			NT		留意種	
			ベニヒカゲ	○	○	○	県天					留意種	
			キマダラモドキ		○					NT	NT		
			クロヒカゲモドキ		○					VU	VU		
		ヤママユガ	オオヒカゲ		○							VU	
			シンジュサン		○							NT	
			イブキスズメ		○							VU	
ヒメキシタヒトリ			○							NT			
キノコガ			○							NT			
キハダカノコ			○							NT			
コシロシタバ			○							NT			
貝類	新紐舌目	モノアラガイ	モノアラガイ	○					NT	NT			
		オカモノアラガイ	ナガオカモノアラガイ	○					NT	CR+EN			

注) 1. 文献調査の出典は以下のとおりである。

伊那環境:「平成 10 年度 伊那市環境基本計画策定業務委託 報告書」(平成 11 年 3 月 伊那市)

伊那市史:「伊那市史 自然編」(昭和 56 年 7 月 伊那市史刊行会)

高遠町誌:「高遠町誌 下巻 自然 現代 民俗」(昭和 54 年 7 月 高遠町誌刊行会)

2. 注目すべき種は、既存文献から網別に記録のある種を基に以下の選定基準から抽出した。選定基準は以下のとおりである。

①:「文化財保護法」(1950 年)に基づく天然記念物及び特別天然記念物に指定されている種又は「文化財保護条例(1975 年)」に基づく県天然記念物に指定されている種

②:「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992 年)に基づく国内希少動植物種及び国際希少野生動植物種及び緊急指定種に指定されている種

③:「鳥類、爬虫類、両生類及びその他無脊椎動物のレッドリストの見直しについて」(環境省 平成 18 年)に記載されている種、及び「哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物Ⅰ及び植物Ⅱのレッドリストの見直しについて」(環境省 平成 19 年)に記載されている種

④:「長野県版レッドデータブック 動物編」(平成 15 年 長野県)に記載されている種

⑤:「指定希少野生植物及び特別指定希少野生植物の指定について」(平成 17 年脊椎動物 平成 18 年無脊椎動物 長野県)に記載されている種

3. ①～⑤の選定基準の記号は以下のとおりである。

①/特天:国指定特別天然記念物、国天:国指定天然記念物、県天:県指定天然記念物

②/国内:国内希少野生動植物種、国際:国際希少野生動植物種

③・④/EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類、CR:絶滅危惧ⅠA類、EN:絶滅危惧ⅠB類、VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群

⑤/特別:特別指定希少野生動植物、指定:指定希少野生動植物

4. 「ゴマシジミ」で選定基準の③、④が「VU」となっているが、本州中部亜種の場合である。

「クモバベニヒカゲ」で選定基準の③が「NT」となっているが、本州亜種の場合である。

## (2) 植物

### 1) 植生の概要

伊那市においては、昭和 59 年及び昭和 61 年に現存植生調査が実施されており、その調査結果は図 2.3-8 に示すとおりである。

対象事業実施区域及びその周囲は、農耕地、植林地、住宅地が多く、人為的影響を強く受けており、自然植生は少ない。

自然植生としては、ブナクラス域のヤナギ低木群落、ケヤキ群落が河川、山地等に分布している他、湿地にはヨシクラスといった湿原植生が分布している。代償植生としては、山地にはカスミザクラ - コナラ群落、アカマツ群落が広く分布し、平地には水田雑草群落等が広く分布している。

また、対象事業実施区域及びその周囲は、水田、河川、山地に囲まれ、アレチウリ、ブタクサ、マメゲンバイナズナ、ヒメジョオン等の帰化植物が見られ、河川、山地沿いには、ヤナギ林、アカマツ林等が見られる。

### 2) 注目すべき植物及び植物群落

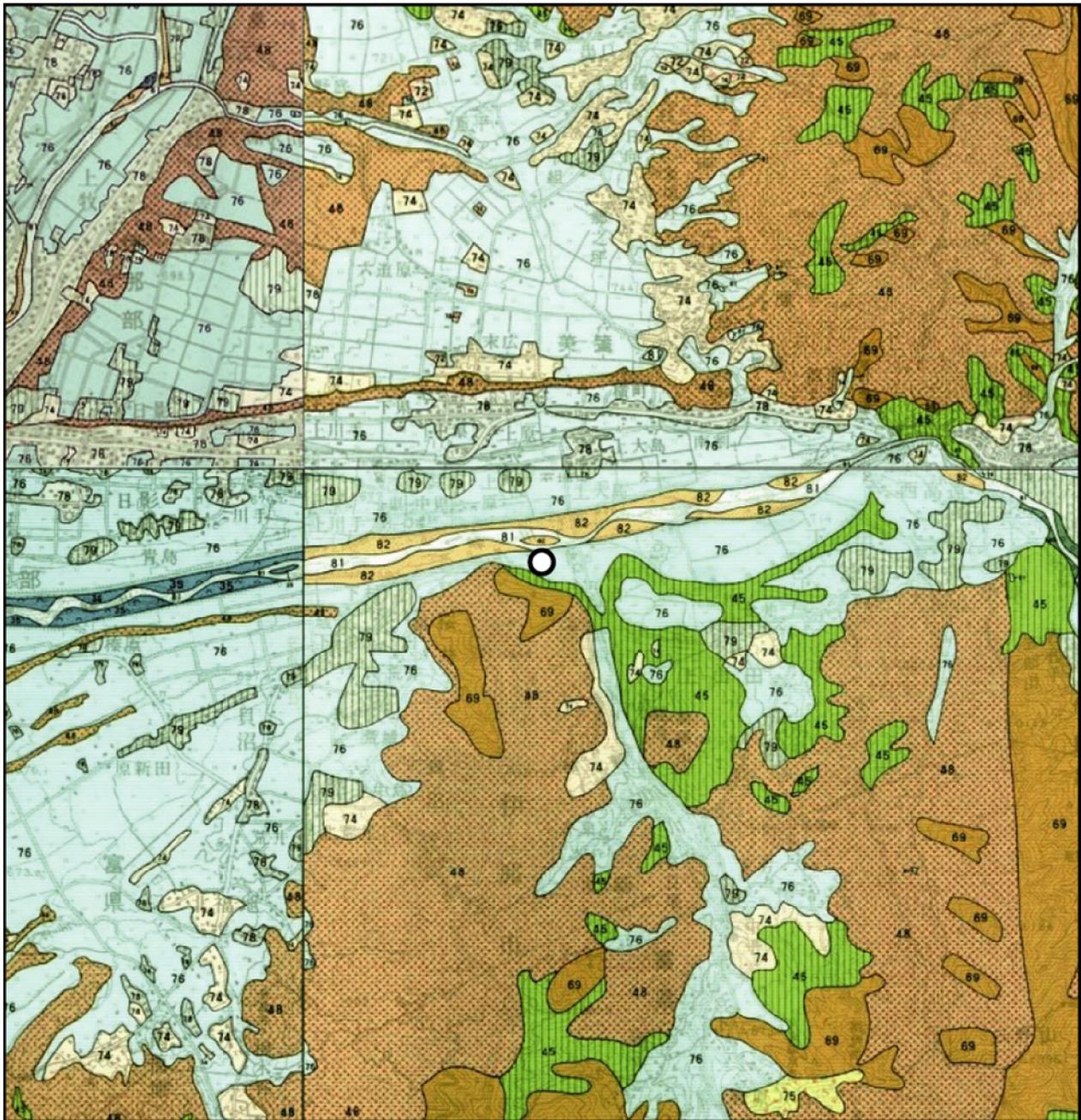
伊那市で確認されている注目すべき植物を表 2.3-4 に示す。

注目すべき植物としては、167 種が確認され、注目すべき植物群落としては、高遠のコヒガンザクラ樹林(タカトオコヒガンザクラ)、高鳥谷神社のアカマツ林、羽広のハンノキ群落、木曾山脈の自然植生等があげられる。

天然記念物としては県指定が 3 件、市指定が 15 件あり、前平のサワラ、白沢のクリ、久保田のアカマツは巨樹・巨木林としても指定されている。

なお、位置が特定できる県及び市指定の天然記念物については、図 2.3-9 に示した。

出典:伊那市ホームページ(伊那市の指定文化財一覧表(平成 21 年))、  
「第 4 回自然環境保全基礎調査 日本の巨樹・巨木林 甲信越・北陸版」(1991 年 環境庁)、  
「第 5 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」(平成 12 年 環境庁)  
「平成 10 年度 伊那市環境基本計画策定業務委託 報告書」(平成 11 年 3 月 伊那市)、  
「伊那市史 自然編」(昭和 56 年 7 月 伊那市史刊行会)、  
「高遠町誌 下巻 自然 現代 民俗」(昭和 54 年 7 月 高遠町誌刊行会)を基に作成



凡 例

○ 対象事業実施区域

ブナクラス域自然植生

- ヤナギ低木群落
- ケヤキ群落

ブナクラス域代償植生

- カシミザクラ-コナラ群落
- アカマツ群落

河辺・湿原・塩沼地・砂丘植生  
(各クラス域共通)

- ヨシクラス

植林地、耕作地植生  
(各クラス域共通)

- カラマツ植林
- 落葉果樹園
- 畑地雑草群落
- 牧草地
- 水田雑草群落

その他

- 市街地
- 緑の多い住宅地
- 開放水域
- 自然裸地



1:50000



出典:「第3回自然環境保全基礎調査(植生調査)現存植生図 長野県・山梨県 昭和59・61年度調査」(昭和60・63年発行環境庁)を基に作成

図 2.3-8 現存植生図

表 2.3-4(1) 伊那市における注目すべき植物

名称	文献調査 <sup>注1</sup>						選定基準 <sup>注2-3</sup>					
	市文化財	巨樹巨木	植物群落	伊那環境	伊那市史	高遠町誌	①	②	③	④	⑤	⑥
高遠のコヒガンザクラ樹林(タカトオコヒガンザクラ)	○		○				県天		○			
前平のサワラ	○	○					県天	○				
白沢のクリ	○	○					県天	○				
市野瀬古城址・城山の松	○						市天					
伯先桜	○						市天					
タマサキフジ	○						市天					
ヤエヤマツツジ	○						市天					
久保田のアカマツ	○	○					市天	○				
薬師堂のシダレザクラ	○						市天					
円座松	○						市天					
トリアシカエデ	○						市天					
仲仙寺周辺の植物群落	○						市天					
溝口のカラカサ松	○						市天					
山寺の白山社八幡社合殿のケヤキ	○						市天					
神明社荒神社合殿のケヤキ	○						市天					
高鳥谷のマツハダ	○						市天					
上新山宮下のサワラ	○						市天					
桑田薬師堂の枝垂桜	○						市天					
仲仙寺の相生杉		○						○				
つるのまつ		○						○				
蟹沢のイチヨウ		○						○				
下川手のケヤキ		○						○				
美篤のヒノキ		○						○				
春近神社のケヤキ		○						○				
諏訪神社のスギ		○						○				
白山神社のモミ		○						○				
水月庵のコウヤマキ		○						○				
上村荒神のコウヤマキ		○						○				
伊那市のイワテヤマナシ		○						○				
狐島お宮のケヤキ		○						○				
常田寺のスギ		○						○				
内ノ萱のカツラ		○						○				
赤石山脈の自然植生			○						○			
木曾山脈の自然植生			○						○			
羽広のハンノキ群落			○						○			
高鳥谷神社のアカマツ林			○						○			

注) 1. 文献調査の出典は以下のとおりである。

市文化財:伊那市ホームページ(伊那市の指定文化財一覧表(平成 21 年))

巨樹巨木:「第 4 回自然環境保全基礎調査 日本の巨樹・巨木林 甲信越・北陸版」(1991 年 環境庁)

植物群落:「第 5 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」(平成 12 年 環境庁)

伊那環境:「平成 10 年度 伊那市環境基本計画策定業務委託 報告書」(平成 11 年 3 月 伊那市)

伊那市史:「伊那市史 自然編」(昭和 56 年 7 月 伊那市史刊行会)

高遠町誌:「高遠町誌 下巻 自然 現代 民俗」(昭和 54 年 7 月 高遠町誌刊行会)

2. 注目すべき種は、既存文献を基に以下の選定基準から抽出した。選定基準は以下のとおりである。

①:「文化財保護法」(1950 年)に基づく天然記念物及び特別天然記念物に指定されている種

②:「第 4 回自然環境保全基礎調査 日本の巨樹・巨木林 甲信越・北陸版」(1991 年 環境庁)の掲載樹等

③:「第 5 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」(平成 12 年 環境庁)に記載されている特定植物群落

④:「哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物 I 及び植物 II のレッドリストの見直しについて」(環境省 平成 19 年)に記載されている種

⑤:「長野県版レッドデータブック 植物編」(平成 13 年 長野県)に記載されている種

⑥:「指定希少野生植物及び特別指定希少野生植物の指定について」(平成 16 年植物 長野県)に記載されている種

3. ①、④、⑤、⑥の選定基準の記号は以下のとおりである。

①/県天:県指定天然記念物、市天:市指定天然記念物

④・⑤/EX:絶滅、CR:絶滅危惧 I A 類、EN:絶滅危惧 I B 類、VU:絶滅危惧 II 類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足

⑥/特別:特別指定希少野生植物、指定:指定希少野生植物

表 2.3-4(2) 伊那市における注目すべき植物

科名	種名	文献調査 <sup>注1)</sup>						選定基準 <sup>注2~3)</sup>					
		市文化財	巨樹巨木	植物群落	伊那環境	伊那市史	高遠町誌	①	②	③	④	⑤	⑥
ヒカゲノカズラ	スギラン				○						VU	EN	
ウラボシ	クラガリシダ						○				EN	VU	
サンショウモ	サンショウモ				○	○					NT	VU	
アカウキクサ	オオアカウキクサ				○	○					VU	EN	
ヒノキ	ミヤマビャクシン						○					VU	
イチイ	キヤラボク						○					NT	
ヤナギ	エゾヤナギ				○							EN	
ブナ	ナラガシワ				○							VU	
タデ	ウナギツカミ				○	○	○					DD	
	ノダイオウ				○		○				NT	NT	
ナデシコ	タガソデソウ				○						VU	NT	
	エンビセンノウ				○						EN	EN	指定
キンボウゲ	フクジュソウ					○	○					NT	
	エンコウソウ						○					EN	
	オウレン				○	○						EN	
	オキナグサ				○	○					VU	EN	指定
メギ	ヘビノボラズ					○					EN		
マツモ	マツモ				○						EN		
ウマノスズクサ	ウマノスズクサ				○						VU		
ボタン	ヤマシャクヤク				○						NT	VU	指定
ケシ	ツルキケマン				○						EN		
アブラナ	ハナハタザオ				○						EN	EX	
	ハクセンナズナ				○	○						VU	
ユキノシタ	ハナネコノメ				○							VU	
	ヤシヤビシヤク				○						NT	VU	
バラ	ツチグリ				○						EN		
	ハクロバイ						○					EN	
	キンロバイ						○				VU	EN	
	マメナシ					○					EN	DD	
	アオナシ				○	○					VU		
	タテヤマキンバイ					○						NT	
マメ	タヌキマメ				○							CR	指定
	イヌハギ				○						NT	NT	
アマ	マツバニンジン				○						CR	DD	
トウダイグサ	ノウルシ				○						NT	EN	
	ニシキソウ				○		○					VU	

注) 1. 文献調査の出典は以下のとおりである。

市文化財:伊那市ホームページ(伊那市の指定文化財一覧表(平成21年))

巨樹巨木:「第4回自然環境保全基礎調査 日本の巨樹・巨木林 甲信越・北陸版」(1991年 環境庁)

植物群落:「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」(平成12年 環境庁)

伊那環境:「平成10年度 伊那市環境基本計画策定業務委託 報告書」(平成11年3月 伊那市)

伊那市史:「伊那市史 自然編」(昭和56年7月 伊那市史刊行会)

高遠町誌:「高遠町誌 下巻 自然 現代 民俗」(昭和54年7月 高遠町誌刊行会)

2. 注目すべき種は、既存文献を基に以下の選定基準から抽出した。選定基準は以下のとおりである。

①:「文化財保護法」(1950年)に基づく天然記念物及び特別天然記念物に指定されている種

②:「第4回自然環境保全基礎調査 日本の巨樹・巨木林 甲信越・北陸版」(1991年 環境庁)の掲載樹等

③:「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」(平成12年 環境庁)に記載されている特定植物群落

④:「哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物Ⅰ及び植物Ⅱのレッドリストの見直しについて」(環境省 平成19年)に記載されている種

⑤:「長野県版レッドデータブック 植物編」(平成13年 長野県)に記載されている種

⑥:「指定希少野生植物及び特別指定希少野生植物の指定について」(平成16年植物 長野県)に記載されている種

3. ①、④、⑤、⑥の選定基準の記号は以下のとおりである。

①/県天:県指定天然記念物、市天:市指定天然記念物

④・⑤/EX:絶滅、CR:絶滅危惧ⅠA類、EN:絶滅危惧ⅠB類、VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足

⑥/特別:特別指定希少野生植物、指定:指定希少野生植物

表 2.3-4(3) 伊那市における注目すべき植物

科名	種名	文献調査 <sup>(注)1</sup>						選定基準 <sup>(注)2~3</sup>					
		市文化財	巨樹巨木	植物群落	伊那環境	伊那市史	高遠町誌	①	②	③	④	⑤	⑥
ヒメハギ	ヒナノキンチャク				○						EN	CR	
クロウメモドキ	ミヤマクマヤナギ				○							NT	
スマレ	タカネスミレ					○					NT		
ウリ	カラスウリ					○						DD	
アカバナ	ミズキンバイ				○						VU		
アリノトウグサ	フサモ				○							NT	
セリ	ミシマサイコ					○						VU	
	オオバチドメ				○							EN	
ツツジ	ヨウラクツツジ				○						VU		
サクラソウ	サクラソウ					○					NT	VU	指定
マチン	アイナエ				○							EX	
リンドウ	コケリンドウ				○							EX	
	イヌセンブリ				○						VU	EX	
ガガイモ	スズサイコ				○						NT	NT	
	コバノカモメヅル				○							EN	
ヒルガオ	マメダオシ					○					CR	EX	
ムラサキ	サワリソウ				○							NT	
	イヌムラサキ				○							CR	
シソ	キセワタ				○						VU	NT	
	ヤマジソ				○						NT	NT	
	ナツノタムラソウ				○							EX	
ゴマノハグサ	アブノメ				○	○						CR	
	ウリクサ				○	○						VU	
	ルリトラノオ				○							VU	
	ゴマノハグサ				○							VU	EN
タヌキモ	イヌノフグリ				○	○	○					VU	VU
	タヌキモ				○							NT	CR
	ミミカキグサ				○							VU	
スイカズラ	ムラサキミミカキグサ				○						NT	VU	
	ソクズ				○							EN	
キキョウ	ツルギキョウ				○							VU	
	キキョウ				○	○	○					VU	NT
キク	ハハコヨモギ					○	○					VU	EN
	シオン					○						VU	
	フジバカマ					○						NT	
	アキノハハコグサ				○							VU	NT
	カワラニガナ				○							NT	VU

注) 1. 文献調査の出典は以下のとおりである。

- 市文化財:伊那市ホームページ(伊那市の指定文化財一覧表(平成 21 年))
- 巨樹巨木:「第 4 回自然環境保全基礎調査 日本の巨樹・巨木林 甲信越・北陸版」(1991 年 環境庁)
- 植物群落:「第 5 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」(平成 12 年 環境庁)
- 伊那環境:「平成 10 年度 伊那市環境基本計画策定業務委託 報告書」(平成 11 年 3 月 伊那市)
- 伊那市史:「伊那市史 自然編」(昭和 56 年 7 月 伊那市史刊行会)
- 高遠町誌:「高遠町誌 下巻 自然 現代 民俗」(昭和 54 年 7 月 高遠町誌刊行会)

2. 注目すべき種は、既存文献を基に以下の選定基準から抽出した。選定基準は以下のとおりである。

- ①:「文化財保護法」(1950 年)に基づく天然記念物及び特別天然記念物に指定されている種
- ②:「第 4 回自然環境保全基礎調査 日本の巨樹・巨木林 甲信越・北陸版」(1991 年 環境庁)の掲載樹等
- ③:「第 5 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」(平成 12 年 環境庁)に記載されている特定植物群落
- ④:「哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物 I 及び植物 II のレッドリストの見直しについて」(環境省 平成 19 年)に記載されている種
- ⑤:「長野県版レッドデータブック 植物編」(平成 13 年 長野県)に記載されている種
- ⑥:「指定希少野生植物及び特別指定希少野生植物の指定について」(平成 16 年植物 長野県)に記載されている種

3. ①、④、⑤、⑥の選定基準の記号は以下のとおりである。

- ①/県天: 県指定天然記念物、市天: 市指定天然記念物
- ④・⑤/EX: 絶滅、CR: 絶滅危惧 I A 類、EN: 絶滅危惧 I B 類、VU: 絶滅危惧 II 類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足
- ⑥/特別: 特別指定希少野生植物、指定: 指定希少野生植物

表 2.3-4(4) 伊那市における注目すべき植物

科名	種名	文献調査 <sup>注1)</sup>						選定基準 <sup>注2-3</sup>					
		市文化財	巨樹巨木	植物群落	伊那環境	伊那市史	高遠町誌	①	②	③	④	⑤	⑥
キク	ヒメウスユキソウ (コマウスユキソウ)					○					NT	CR	特別
	コウリンカ				○		○				VU	NT	
	ヤマボクチ				○	○						VU	
	カントウタンポポ				○							EN	
	オナモミ				○	○					VU		
オモダカ	サジオモダカ				○	○						CR	
	アギナシ				○	○	○				NT	EN	
	ウリカワ					○						VU	
トチカガミ	スブタ				○						VU	EN	
	クロモ				○							CR	
	ミズオオバコ				○	○					VU	VU	
	セキショウモ				○	○						EN	
ヒルムシロ	ヤナギモ				○							VU	
	イトモ						○				NT	VU	
イバラモ	ホッスモ				○							CR	
	イバラモ				○							CR	
ユリ	ササユリ				○	○	○					NT	指定
ミズアオイ	ミズアオイ					○					NT	CR	
アヤメ	カキツバタ					○					NT	NT	
イグサ	クモマスズメノヒエ					○					NT		
ホシクサ	ホシクサ				○	○						VU	
イネ	セトガヤ				○							EN	
	エゾムギ						○					CR	
	ムツオレグサ				○							CR	
	アシカキ				○							NT	
	アワガエリ				○							CR	
	タカネタチイチゴツナギ				○						VU	EN	
	ヒエガエリ				○							DD	
	ヌメリグサ				○							NT	
	ウシクサ				○							EN	
サトイモ	マイヅルテンナンショウ				○						VU		
	イナヒロハテンナンショウ				○						CR	CR	
	ウラシマソウ				○							VU	指定
ウキクサ	ヒンジモ				○	○					VU	CR	
ミクリ	ミクリ				○						NT	VU	
カヤツリグサ	アゼナルコ				○						EN		

注) 1. 文献調査の出典は以下のとおりである。

- 市文化財:伊那市ホームページ(伊那市の指定文化財一覧表(平成 21 年))
- 巨樹巨木:「第 4 回自然環境保全基礎調査 日本の巨樹・巨木林 甲信越・北陸版」(1991 年 環境庁)
- 植物群落:「第 5 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」(平成 12 年 環境庁)
- 伊那環境:「平成 10 年度 伊那市環境基本計画策定業務委託 報告書」(平成 11 年 3 月 伊那市)
- 伊那市史:「伊那市史 自然編」(昭和 56 年 7 月 伊那市史刊行会)
- 高遠町誌:「高遠町誌 下巻 自然 現代 民俗」(昭和 54 年 7 月 高遠町誌刊行会)

2. 注目すべき種は、既存文献を基に以下の選定基準から抽出した。選定基準は以下のとおりである。

- ①:「文化財保護法」(1950 年)に基づく天然記念物及び特別天然記念物に指定されている種
- ②:「第 4 回自然環境保全基礎調査 日本の巨樹・巨木林 甲信越・北陸版」(1991 年 環境庁)の掲載樹等
- ③:「第 5 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」(平成 12 年 環境庁)に記載されている特定植物群落
- ④:「哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物 I 及び植物 II のレッドリストの見直しについて」(環境省 平成 19 年)に記載されている種
- ⑤:「長野県版レッドデータブック 植物編」(平成 13 年 長野県)に記載されている種
- ⑥:「指定希少野生植物及び特別指定希少野生植物の指定について」(平成 16 年植物 長野県)に記載されている種

3. ①、④、⑤、⑥の選定基準の記号は以下のとおりである。

- ①/県天: 県指定天然記念物、市天: 市指定天然記念物
- ④・⑤/EX: 絶滅、CR: 絶滅危惧 I A 類、EN: 絶滅危惧 I B 類、VU: 絶滅危惧 II 類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足
- ⑥/特別: 特別指定希少野生植物、指定: 指定希少野生植物

表 2.3-4(5) 伊那市における注目すべき植物

科名	種名	文献調査 <sup>注1)</sup>						選定基準 <sup>注2-3)</sup>					
		市文化財	巨樹巨木	植物群落	伊那環境	伊那市史	高遠町誌	①	②	③	④	⑤	⑥
カヤツリグサ	クグガヤツリ				○	○						NT	
	タカネクロスゲ					○					VU	CR	
	コシンジュガヤ				○							VU	
ラン	ギンラン				○							NT	
	キンラン				○						VU	EN	特別
	クマガイソウ					○					VU	CR	特別
	イチヨウラン				○							NT	
	カキラン				○							NT	
	ツチアケビ				○							VU	
	ヒメヤママズラ				○							NT	
	サギソウ					○					NT	CR	指定
	ミズトンボ				○						VU	NT	
	スズムシソウ				○							CR	
	ヒメフタバラン				○							NT	
	カモメラン				○						NT	EN	
	コケイラン				○							VU	
	シロウマチドリ					○					VU	EN	
	ツレサギソウ				○							CR	
	オオバトンボソウ				○							NT	
	コバトンボソウ				○							NT	
トキノウ					○					NT	VU	指定	
ヤマトキノウ				○							EN		

注)1. 文献調査の出典は以下のとおりである。

市文化財:伊那市ホームページ(伊那市の指定文化財一覧表(平成21年))

巨樹巨木:「第4回自然環境保全基礎調査 日本の巨樹・巨木林 甲信越・北陸版」(1991年 環境庁)

植物群落:「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」(平成12年 環境庁)

伊那環境:「平成10年度 伊那市環境基本計画策定業務委託 報告書」(平成11年3月 伊那市)

伊那市史:「伊那市史 自然編」(昭和56年7月 伊那市史刊行会)

高遠町誌:「高遠町誌 下巻 自然 現代 民俗」(昭和54年7月 高遠町誌刊行会)

2. 注目すべき種は、既存文献を基に以下の選定基準から抽出した。選定基準は以下のとおりである。

①:「文化財保護法」(1950年)に基づく天然記念物及び特別天然記念物に指定されている種

②:「第4回自然環境保全基礎調査 日本の巨樹・巨木林 甲信越・北陸版」(1991年 環境庁)の掲載樹等

③:「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」(平成12年 環境庁)に記載されている特定植物群落

④:「哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物Ⅰ及び植物Ⅱのレッドリストの見直しについて」(環境省 平成19年)に記載されている種

⑤:「長野県版レッドデータブック 植物編」(平成13年 長野県)に記載されている種

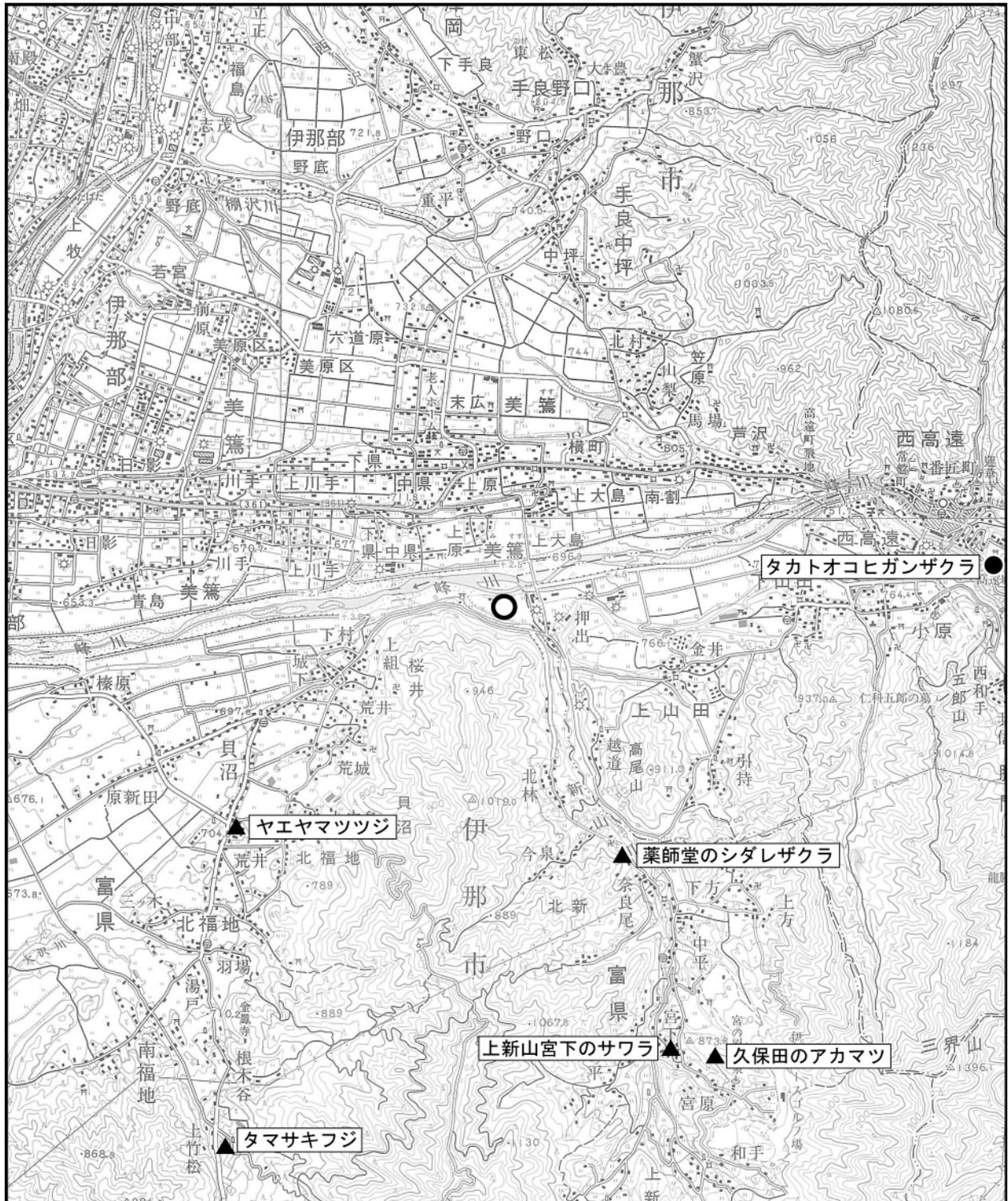
⑥:「指定希少野生植物及び特別指定希少野生植物の指定について」(平成16年植物 長野県)に記載されている種

3. ①、④、⑤、⑥の選定基準の記号は以下のとおりである。

①/県天:県指定天然記念物、市天:市指定天然記念物

④・⑤/EX:絶滅、CR:絶滅危惧ⅠA類、EN:絶滅危惧ⅠB類、VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足

⑥/特別:特別指定希少野生植物、指定:指定希少野生植物



<b>凡 例</b>		 1:50000 
○	対象事業実施区域	
●	県指定天然記念物	
▲	市指定天然記念物	

この地図は、国土交通省国土地理院発行の5万分の1地形図を基に作成した。  
 出典:伊那市ホームページ(伊那市の指定文化財一覧表(平成21年))を基に作成

**図 2.3-9 天然記念物の分布状況**

### (3) 生態系

対象事業実施区域及びその周囲は、農耕地、植林地、住宅地が多く、人為的影響を強く受けており、自然植生は少ない。自然植生は、河川内にヤナギの低木が分布している他、湿原植生が分布している程度である。自然植生以外の植生としては、河川沿いや耕作地周辺に水田雑草群落、カスミザクラ - コナラ群落が、山地にはアカマツ群落が広く分布している。

動物については、人為的影響を強く受けた植生であるが、農耕地、山地が入り組んで分布しているため、ニホンザル、ノウサギ、イタチ、カモシカ等が確認されている。また、河川や池等の水辺環境が多く存在することから、サギ類やシギ・チドリ類といった水鳥が確認されている。

また、対象事業実施区域及びその周囲には、ブラックバス等の帰化動物や、アレチウリ、ブタクサ、マメグンバイナズナ、ヒメジョオン等の帰化植物も多く確認されており、在来種の生息及び生育を脅かす存在となっている。さらに、ニホンジカの増大による農作物、高山植物への被害が多く確認されている。

生態系の上位に位置する「上位性の種」としては、農耕地ではイタチ等のほ乳類、オオタカ等の猛禽類、水辺環境ではコサギ、アオサギ等のサギ類、カワセミがあげられる。イタチはネズミ類や昆虫類、魚類等を、猛禽類はネズミ類や魚類等を、サギ類は魚類、カエル類、昆虫類等を、カワセミは魚類を餌としている。

さらに、典型的な地域の生態系の特徴を表す「典型性の種」としては、農耕地では水田雑草群落等にトノサマガエル、シュレーゲルアオガエル、畑地雑草群落等にハツカネズミ、水辺環境ではヨシクラス等の湿原植生にカヤネズミ、市街地ではドブネズミ、ヒヨドリ、スズメ等があげられる。

特殊な環境であることを示す指標となる「特殊性の種」に該当する種は、水田や池沼に分布するオオアカウキクサ、山地林内のカタクリ等があげられる。

出典:「平成 10 年度 伊那市環境基本計画策定業務委託 報告書」(平成 11 年 3 月 伊那市)、  
「伊那市史 自然編」(昭和 56 年 7 月 伊那市史刊行会)、  
「高遠町誌 下巻 自然 現代 民俗」(昭和 54 年 7 月 高遠町誌刊行会)を基に作成